

印刷けんぽ

新年特別号 ニュース No.165

全国印刷工業健康保険組合
東京都中央区新川1-5-13
☎03-3551-9301
平成27年1月1日発行

<http://www.insatukenpo.or.jp>

年頭のご挨拶(年頭所感)

理事長 青木 宏至



あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、被保険者並びにご家族の皆様におかれましては、よき新春を健やかに迎えの事とお慶び申し上げます。また、平素より当組合の事業運営に格別のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、2月の大雪をはじめ、立て続けに台風が日本列島を襲い、夏以降には広島市での土砂災害や、御嶽山の噴火により多くの犠牲者が出るなど、あらためて自然の脅威を痛感する1年でもありました。

経済面では、昨年4月に消費税が5%から8%に引き上げられ、さらに、今年10月からは、10%に引き上げられる予定になっておりました。しかしながら、安倍政権は、昨年7～9月期のGDPの伸びが思わしくなかったことから、引き上げを平成29年4月に延期し、これを1つの争点として解散総選挙が行われたところです。いずれにいたしましても、新政権には、早期の景気回復をはじめ、我々健保組合の悲願である社会保障制度の抜本的改革を切に願うところです。

また、我々印刷業界を取り巻く環境は、被保険者の皆様の給与のお届出を見ていきますと、わずかではございますが、良い傾向が現われてきているものの、日々の生活においては、まったくと言っていいほど明るい兆しが見えてきておりません。円安による印刷資材の高騰やデジタル化に伴う省力化、内製化、デジタル書籍の台頭等による業績不振からいまだに抜け出せない状態でございます。

そして、当組合に目を転じますと、今年は2月28日をもって、支部事務所が廃止され、本部を中心とした組織に再編することとなります。第二次特別委員会でお示しいただいた苦渋の決断を受けて、昨年1月の理事会、組合会において、審議のうえ、ご承認いただいたところです。

昭和28年に東京都印刷健康保険組合として誕生した我が健保組合が昭和33年に全国組織となって以来、これまで支えあって事業運営を行ってまいりましたが、今回このような改革を行わなければならなかった事態に陥ったことは誠に残念な思いで一杯でございます。

今後の当組合の事業運営を考えますと、これからも、たくさんの難問が待ち構えている中での船出ではございますが、印刷健保の灯を守り、ぜひとも財政の健全化を成し遂げ、また支部の事業所の皆様に当組合に戻って来ていただけるよう、最大限の努力をしてまいりますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

このような大変厳しい状況の中での平成27年でございますが、事業主並びに被保険者、ご家族の皆様方におかれましては、当組合の事業運営に、絶大なご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりますが、皆様にとって、今年がよい年でありますことを祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



冬の感染症をひろげない！早めに治す！ ～自宅療養のポイント～

インフルエンザ、かぜ、ノロウイルスなどの感染症に注意を要する季節になりました。
もし、かかってしまったら外出を控え、自宅で療養することが大切です。休養をしっかりとって体力を回復することが、ウイルスや病原菌に打ち勝つカギです。また、感染症を家族など周りの人にうつさない工夫も必要です。

安静にしてゆっくり睡眠をとる

- ・ウイルスに抵抗できるだけの体力を回復するために、たっぷりと睡眠をとりましょう。
- ・熱などがつらくて眠れないときも、安静にしていることが大切です。
- ・汗をかいてぬれたパジャマや下着などは着替えて、常に清潔にして過ごしましょう。
- ・ノロウイルスの場合、患者の衣類やシーツ、タオルなどは、ほかの家族のものと分けて洗濯しましょう。

患者はほかの家族と離れて過ごす

- ・患者は、ほかの家族にうつさないために、なるべく個室で一人で過ごし、睡眠も食事も、ほかの家族とは別にとりましょう。
- ・看病をする人は、患者の世話をするときにはマスクをしたり、部屋から出た後に石けんで手洗いするなど、感染を広げないように努めましょう。

部屋の温度や湿度、換気に気を配る

- ・ウイルスは低温と乾燥を好むので、冬場は、暖房と加湿器などを上手に利用し、部屋を温度 20 度程度、湿度 50～60% に保つようにしましょう。
- ・室内にウイルスをまん延させないために、ときどき窓を開けるなどして、換気に注意しましょう。

十分な水分と栄養補給を

- ・熱があるときは、いつもより水分が失われるので、脱水を防ぐために、こまめに水分をとることが大切です。水やお茶でもかまいませんが、汗をたくさんかいたときは、吸収のよいスポーツドリンクがおすすめです。
- ・体力を回復させるには栄養補給も必要です。食欲のないときも、おかゆやスープ、果物など、のどを通りやすいものを少しでも食べて栄養をとりましょう。
- ・ノロウイルスの場合、おう吐がつづいている間は食べられませんが、治まってきたら、消化のよいものを少しずつ食べましょう。



家庭内でもマスクの着用を

- ・患者はできるだけ家庭内でもマスクをつけて過ごしましょう。とくにトイレや洗面所など、ほかの家族も使うところでは、マスクをつけておきましょう。
- ・インフルエンザやかぜなど、呼吸器の感染症では、のどの乾燥予防のためにも、マスクはおすすめです。
- ・幼児などはマスクをつけっぱなしにするのを嫌がることもありますので、その場合は看病をする人がマスクをつけて感染を防ぎます。



高額療養費（自己負担限度額）等の改正について

平成 27 年 1 月から高額療養費の自己負担額が 5 段階へと改正され、限度額適用認定証等の表記も下記のとおり変更されました。

標準報酬月額	適用区分	高額療養費（自己負担限度額）計算方法
83 万円以上	ア	252,600 円+（医療費－842,000 円）×1%
53 万～83 万円未満	イ	167,400 円+（医療費－558,000 円）×1%
28 万～53 万円未満	ウ	80,100 円+（医療費－267,000 円）×1%
28 万円未満	エ	57,600 円
低所得者（住民税非課税）	オ	35,400 円

お詫びと変更

インフルエンザの予防接種費用補助申請期限を 2 月末日までとしておりましたが、
平成 27 年 2 月 16 日（月）までと変更させていただきます。
誠に申し訳ございませんが、よろしくお願いいたします。

